

2015



くらし第一、政治の流れを **変える年に**

今年もがんばります

新しい年が明けました。

昨年は、消費税8%増税や集団的自衛権行使容認の閣議決定強行と、安倍内閣の暴走政治が加速する一方、原発再稼働や米軍新基地建設に反対する運動など、国民のたたかいかいも大きく前進した一年でした。12月の総選挙で、国民のたたかいと結びついた日本共産党が大きく躍進したことも、政治の流れを変える展望を示しました。

今春にはいつせい地方選挙、来年年明けには京都市長選挙が行われます。政府が「増税不況」と格差拡大をもたらし「アベノミクス」を継続し、社会保障切りすてをすすめる中で、住民の命とくらしを守る地方自治体の役割が問われています。

日本共産党市会議員団は、敬老乗車証の改悪など「京プラン」^{みやこ}実施計画の具体化に反対し、身近で切実な願いを実現するため、今年もみなさんとごいっしょに力いっぱいがんばります。

二〇一五年一月

日本共産党京都市会議員団



ご意見をお寄せください

2015年1月 日本共産党 京都市会議員団 京都市中京区河原町御池 京都市役所内 日本共産党市会議員団は、上記の見解を発表しました。

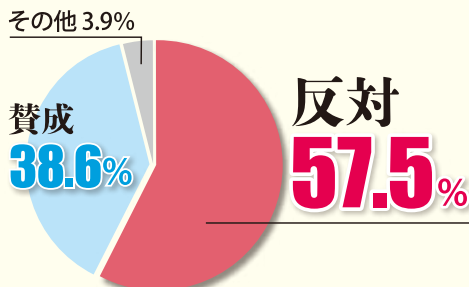
TEL: 075-222-3728 FAX: 075-211-2130 E-mail: info@cpgkyoto.jp

安倍内閣の暴走ストップ!

消費税増税は、キツパリと中止を

昨年4月からの消費税8%は、くらしと営業に打撃を与え、「増税不況」をつくりだしました。消費税10%への増税は先送りではなく、キツパリと中止を。社会保障拡充の財源は、富裕層と大企業に応分の負担を求め確保すべきです。

消費税10%増税に6割が反対



(総選挙後の共同通信世論調査)



市民の命・くらしを守る 市政への転換を

高すぎる国保料の 1万円以上の引き下げを

京都市の国民健康保険会計は、6年連続で単年度黒字です。引き下げを拒否する口実とされてきた累積赤字も解消されています。高すぎる国保料の引き下げは待ったなし。1世帯1万円以上の引き下げを行います。

子どもの医療費 中学校卒業まで無料に

府の制度に上乘せしていないのは府内で京都市だけ。中学校卒業までの医療費無料化は切実な願いです。11月市会には制度の拡充を求める請願が出されました。引き続き、請願の採択、制度の拡充めざしてがんばります。



敬老乗車証制度の改悪に ストップを

乗るたびに100円程度の負担を求める方式への変更をねらう京都市。「市民の宝物」・敬老乗車証を守れと、市民の運動が大きく広がり、改悪を許していません。制度の改悪ではなく、拡充をはかるべきです。

日本共産党
市会議員団

京都市会議員団

「2015年度京都市予算 編成に対する要求書」 を提出

11月27日、「2015年度京都市予算編成に対する要求書」を門川市長に提出しました。台風や豪雨による被害への対応の強化、原発からの撤退、地域防災計画の充実、老人医療費支給制度の存続・拡充など、332項目(新規36項目)を要望しています。

